

さっぽろ

郵便振替02710-570 あごられ幌



1994.7.1 発行

NO 183

あごられ幌連絡先 今月通信担当

細田(011-644-2922) 谷百合子 664-0632

今月の内容

不妊症 なんてこわくない	あたりまえだよ
..... 1.2	男のう音を読んで... 6
映画「ラデルフィア」を見て.... 3.4	タカラ女へ。)ニース ... 7
ブリビンのおんぬ。こども	
の昨日今日明日... 4.5	情報 8

通信費請求料 1,940円(年間)



= YUKO.K =

『2010年には、子供のいない30代前半の夫婦は現在の2倍(約30%)になり、少子化に指標がかかる』そんな記事が新聞に掲載された。この手の記事が生み出された背景は、子供作れる環境—雇用、税制整備、社会全体の意識改革の必要性などが合流して載る。もちろん全くの他人事ではないので、安心して育児と仕事とを続けていける環境の実現に期待している。ただし、いつも、ちょっとだけひっかかる。子供を“作れる”“作れない”ことばかりが、出生率低下の原因としてとりあげられているようで....。意識のしづかもいけないけれど、“できな”から仕方なく出生率を下げざるを得ないんだって叫びたくなり。私達は結婚して7年になる。最初の頃は「新婚さん」といわれていて、2年程おと必ずこの質問が飛ってくる。「子供はまだ?」

私がいつかを聞かれるときは構わないんだけど、その後が二・わ・い。「産んだらいはお」「子供はかわいいぞお(早く産めよと言いたげ)」「早くしゃまや(何を!?)産めなくなるぞ」「どうが悪くてできなの?」余計なお世話だ。前の職場の忘年会で、誰かの子供自慢から、私の方へと鋒先が向けられた。赤い顔のメガネやジラフが「まさか不妊症ってことないよね」と臭い息をかける。常識を疑ってほうそのセリフに傷つくよりも、それ以上、言葉が出口なかつた。...
結婚して避妊をせずに入院したのも子供ができな場合、不妊症といふらしい。私も、聞かれて今なら「できにくんだよね」と自然に答えるが、今頃は本音を言ふと、相手の目の中に同情や憐み、優越感を見ようが、「今は欲しくないんです」とうそをつけていた。そう言ひながら検査に通っていたのだけど....。

み友人が言った。「どうに女性は、独身時代は“結婚しないの?”と聞かれ、結婚したらしくて“お子さんですか？”一人産むと“次の子まだ？”と聞かれなくてどうかね。夫婦と、平均通り子供2人程いてはじめて家庭として認められみたいとか…バカバカしい」彼女には高校生の女の子が1人いるのだが、やはり産んでしまひすると、「子供が1人じゃかわいいよ、もう1人産んない？」と言われたりする。ケースを違え 松と同じ腹立たしさを感じていたらしい。

私は別に誰かの圧力に負けた訳ではなく、素直に子供ができればいいだと思い検査を受けたりだった。夫婦とも受胎能力が人よりも低いといいが、通院すればできるかもしれないと言われ、2年前までがんばっていた。検査そのものが嫌な時もあつたが、横にお腹の大王な人がいると幸福そうに見えてさみしかった。妊婦達の「二人の人何しに来ているんですか？」というような好奇の目はもっとづらかった。

ある日、造影剤を子宮内に注入する検査中、激痛が走り、一時私の血圧は上で60を切らず下がって行った。すぐに座薬をさせた医者が「痛みによるショックのせいだから」と言ふのが聞えた。1時間程、のち回帰状態が続き、それから徐々に軽くなっていった。連絡を受た駆けつけた夫が後から言うには、顔が青くて死ぬかと思ったとのこと。私も同感。この時からなぜここでつらい思いを繰り返してまで子供を作らなければいけないのか、わからなかつた。周りの目にとらわれず本当に石破い人が挑戦すればいい。でも松達は、自然にまかせてそれでも神様が授けたのなら別の生き方がみんなじゃないかと考え始めた。結局 手術 徒歩にて、最近では漢方治療を行っているが、無理はしないと決めている。子供がいなければいいなりの樂しかってあと思ふ。2人だけの生活はやはり気楽だ。趣味や勉強にかける時間もたくさんある。ただ、これも周囲の理解があつてこそだす気が思う。(特に姑の…?) 例えば、私の友人夫妻の場合、お姑さんが突然200万(もの大金!!)を持ってきて「これで旭川医大の体外受精をしてみばさい」と言ったと嘆いていた。手記憶に新しい、病院から子供を誘拐した夫婦も親戚や友人からのプレッシャーが強く思ひ余った末のでき事でもあつた。社会制度が変化して「子供が生むがいい」と思ふ人は若い人程少なくないし、跡継ぎをしいるに必要としている。もう少し個人の環境や生き方を認め、プライベートな面に土足で足を踏み入れて無責任な親切を押しが子のはやめにしたい ——自己反省⑩

鼠ゼン子が以前記者会見で言った。「子供のことを質問されると
にせめられていく気がする。がん患者に対するガンに対するのか
聞かないのにね」と。子供を産まなければ女だけで1人前
ではないのか。子供のいる女性には女性はないのだろう
うか。私はまだ子供の偏見があるように思うのだが

— 2 — (終)

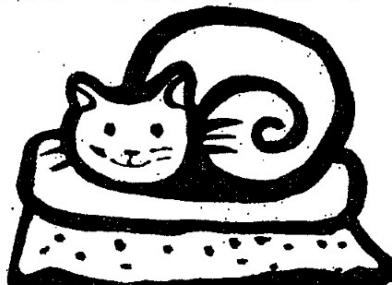


映画「フィラデルフィアを見て」

ト・H

私が2年前に、ガンの手術をした時、友達や知合いから同情や励ましを受け、感謝の気持ちで一杯であった。しかし自分の病気がガンであったからこんな皆がちやほやしてくれる、もしエイズだったらどうだろうか、とその時初めてエイズの事を真剣に考えた。死に至る病気の中でエイズにかかる事が今一番悲惨ではないだろうか、という思いがそれから頭を離れなかった。

この映画がエイズに関する裁判の映画であると知って、とにかく見てみようと思いつつ内容も知らないままに見にいった。ところが実際に良くて感動してしまった。テンポが早くて感傷的でない事が問題をはっきり浮かびあがらせている。



映画は主人公の弁護士ベケットが裁判に勝つ場面で始まり、その後に会社で昇進の話があり、彼が優秀な弁護士である事わかる。同時に病院での血液検査や顔にてんてんとできた染みで、彼が病気それもエイズらしい、とわかつてくる。突然、彼が用意した裁判に必要な書類が紛失して、それを理由に会社を解雇される。隠していたエイズで解雇された事はベケットも観客の我々も分かるが、はっきりした証拠はない。ここから彼の裁判闘争が始まる。

名門の法律事務所を相手に証拠もはっきりしない裁判を引受けてくれる弁護士がなかなか見つからない。最初の場面でライバルだった弁護士ミラーがやっと引受ける。ベケットを取巻く人々の描写がうまくできている。エイズを恐れホモを嫌い、偏見を持っているミラー。一方ベケットは男のパートナーと同棲しており、家族は彼の生活を支持し、その関係を認めている。ベケットが家族に裁判で迷惑がかかるかもしれない、と言うとお母さんがあなたを偏見と闘うように育てたのよ、と答える場面に心うたれた。又パートナーのミゲールがごく自然に病気の彼の世話をしている所も良かった。



映画の始まった時点でもうベケットがエイズを発病しており、家族もそれを知って心配しており、パートナーを含めた彼の生活を受入れている、という映画の設定にまず印象づけられた。一方差別と偏見を持つ多くの人々がおり、ミラーが少しずつその中で偏見を改めてゆく所もわかりやすい。オペラが各所に使われベケットがミラーと裁判の打合せをするはずだったのに、オペラのアリアに聞きほれて、死にゆく自分の身と歌の内容をだぶらせて、ミラーに説明する所は、オペラファンとしては見逃せない最高に感動する場面だった。

ミラーは黒人、会社側の弁護士は女性が演じており、人種差別、性差別をも意識した配役だと思えた。



フィリピンあれこれ。昨日今日明日 日本あれこれ。昨日今日明日

高橋芳恵

3月17日から5月19日まで仕事でフィリピン・マニラ市に単身赴任した。事前に「フィリピンは治安が良くないので単独行動は避けるよう」お達しがあった。せっかく、24時間自分の時間として使える結婚、以来初めてのチャンスなのに、職場とホテルの往復だけなど私には考えられなかった。また、3月12、13日東京で開かれた【女性の人権アジア法廷】参加。ここで、フィリピン・マニラ市にあるバティス・センターの代表・メルと日本人ボランティア・マヤと知り合えたことは本当にラッキーだった。

日本からフィリピンに帰ってきたマヤと会うことができたのは、3週間もたった頃。バティス・センターが私の泊まっているホテルから徒歩6~7分ということがわかったので、平日仕事が終わってからバティス・センターへ通った。私の顔はフィリピンにおいては完璧なフィリピン人（目が大きく色黒、ストレートヘア）なので一人歩きでしゃべらなければ、とても安全なのである。ここは、主にジャパニーズ・フィリビノ・チルドレン（日比の子ども）をケアするNGOである。結婚していても平気で二重婚、三重婚と女を渡り歩く日本の男。子どもを複数もうけてアッサリと母子を捨て去り次の女に乗り換える。

ある日、米軍基地のあったオロンガボ市（マニラ市からバスで2時間）のクライアントの家へいった。3畳2間と4畳くらいの土間（ピナツボの灰のかぶつた山中に、屋根と壁で囲まれたスペースがたったそれだけ）に20人くらいの女、子供が住ん



でいた。男達は全員出稼ぎ。そして帰ってくる度に子供が増えていく。父親の送金では米を買うのがせいいっぱいだそうだ。そういった家庭環境の中で、日本に行ったら良い働き口があるよ、と言われば危険を承知で出て行かざるを得ない現実がある。

マニラでハポンという本を読んだ。毎日新聞記者、大野氏が戦後日本の父親に置き去りにされたフィリピン母子の悲惨な現状を尋ね歩いたルポである。戦後50年たった今も全く同じことが繰り返されている。

私のフィリピンでの職場にも、現在日本人の年老いた恋人を持つ若い女性がいた。彼女がそうならないことを願いつつ、何か相談したいことがあったらバティスへ行くようにアドバイスし、フィリピンを後にした。

さて、日本に残された私の連れ合いとその子どもたち、言い替えると日本のおとこ、こどもの昨日、今日、明日はどうだったかというと。

はれて希望の高校に入れた第一子はバスケ部に入り、6:30登校20:00帰宅で自分のことをするのがやっと。自分の弁当は自分で作るように言いおいて来たのだが、弁当を作るくらいなら寝ていた方がいい娘に、育ち盛りに出来合いの弁当を食べさせたくない父親は、夜残業が終わって、22:00ごろ帰宅、それから家事をし、明日の朝食、弁当の下ごしらえをし床に着くのはいつも深夜1:30。悪いことは重なるもので私の留守の間に小学6年の第二子のモダンダンスの発表会が2回もあり、練習で遅くなるために夕食分の弁当作りと、連れ合いにとっては恐怖の弁当作りだったようだ。その父親の姿を見て感謝するならともかく、「私はコンビニの弁当でいいのに」といった態度もたびたびあり、娘たちの態度に一喜一憂していたようだ。この一喜一憂は今までの私の姿。連れ合いにとっては、ほとんど、「なにもしない夫をもった共働きの妻」を体験したことになる。彼にとっても貴重な経験だったとおもった。

私はフィリピンにいてもとても忙しく時間はとても貴重だったが、同行した男性（ボス）は時間を持て余し、特に土、日、時間をいかにつぶすか頭を悩ませていた。男の単身赴任がいろいろ問題になっているが、贅沢、の一言に尽きるようなきがした。「時間を潰すなんて、なんて罰あたりなんだ」と思いつつ、男はなんと優遇されていることかとため息がでた。反面、女である私は「夫、子どもを2ヶ月も放って好き勝手している。」なんて言う人もいたりして、トホホ・・・

帰国後、連れ合いには「心からご苦労様と言った後で、「あなたはたったの2ヶ月。しかも放っておいても死にはしない年齢の子どもたちなのだから、そこから、私のかつてのほぼ5年間の苦労（第1子、第2子が生まれ、放っておいたら死んでしまうような時期、彼は連日残業で私は大変だった）を想像し労ってもらいたい」と言うと、めずらしく果敢に反論してきた。

「だって、赤ん坊は、口答えしないでしょ」・・・本当に反抗期真っ盛りの娘と対岐したとき、ミンナトウルミチとわかってはいても、こちらも未熟な生身の人間、ついむきになって大喧嘩になったりするものだ。今までいつも第3者的に見ていられたのが、もう、当事者として参加せざるを得なくなってしまった。



皇 鈴木政俊・圭子著「育児休業1年間の体験記

あたりまえ男の子育て」を読んで

谷 百合子

送られてきた本を聞いて、思わずてんぐりかえしで笑ってしまった。政俊こと政やんは、北電、株主総会で、我々が全員、総会屋と信じてしまったほどの、コワモテの大男である。その後が、赤んぼを抱いてキリキリ舞いをしている写真がいっぽいのっていうのだ。さう、実感が伝わってきて、感動しながら笑える本である。出版に際して、あの鬼一じゃない「名」編集長の誉高い、宇佐美さんのアドバイスがあつたとのこと、同情一じゃない、大ラッキーだった訳である。

＜極論＞ 男が生活者として自立できれば、日本のエミニスムはほとんど解決する

と、私は思うのである。要するに企業にからめとられている男をどんどん生活に取り込めばいいのである。圭子さんは病気がちで、いやゆる「不妊」治療を続けていたが、あきらめかけていたら、次々と二人の赤ちゃんに恵まれた。愛しあっている二人が育休をいく自然にとったのは当然である。

しかし、風当たりは相当なものであった。「奥さんか傷いていいのに」とか又職場の混乱もかなりあったようだ。せっかく育休制度ができるも、しかもとか、世間体を考えて活用しない人が、ほとんどではないだろうか。しかも二人は無給生活に入った訳である。よほどの覚悟かといったがどう。家族4人か一年間、いつも一緒にいらうがうう! という好奇心があり、そして、一緒にいてもうう(くない関係だからやれたー)と圭子さんも言っていた。

私の狭い範囲でまわりを見ると、みんないい人はかりたし、女も男も対等につきあっている。しかし、ひとたびチャンネルをひねると、世の中は、ガシガシの男社会である。社会イール男なのだ。女は名前も、仕事を男に奪われてしまつて、今だにNo.2である。企業人間なんて、やはりダメ(いと思う)。ほんの一 年だけ、育休に取り組んだ二人にエールを送りたい! 幸福だよ!

女から女へ ニュース!

＜アジア（インドネシア）への原発輸出を止めよう！

インドネシア・ジャワ島中部のウシユンットという、ランチで暮らす人々の村に、原発を建てようという計画がある。そのために関西電力の子会社であるニュージェックという会社が事前調査を行っている。'95～'96年には、日本の三菱とアメリカのウェスティングハウス社が組んでAPWRという新型の原子炉の建設をはじめるのではないかといわれている。

日本は前の戦争で、2000万人ものアジアの人々を殺害した。その兵器の多くが、三菱の製品であった。又、三菱化成系列のアジアアース社は、マレーシアで、放射性廃棄物を置き去りにし、住民にすごい健康被害を与えている。

森林の保護を訴える人々から、三菱商事は世界最大の環境破壊企業と指摘されている。

'94年アジア地域原子力協力国際会議では「アジアに原子力の友を！」と、日本から次々とアジアに原発輸出の計画が行われている。もう、これ以上、アジアを侵略するのは許せない。

是非ストップキャンペーンにご協力下さい。

ハガキ作戦を展開しています。

(1)スバルト大統領宛て (2) 三菱重工KDD宛て

(3)通産大臣宛て (4) 後援団体：八町通3-2

（5）本部：東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL：03-521-7000 STOP原発輸出キャンペーン

STOP
原発輸出

ちよかれて！ 第70回北海道電力株主総会 反対

今年も提案料まで詰め込まれた最中にマクドナルドで切られてしまった。憤りや怒りなく、ついビールを飲んでしまった。株主総会は、男社会、暴力社会、権力社会、差別社会etc 全部ある。女たちは大変して株主総会をいつの日かのうとう！ ゆりこ

Information

ひめゆりの会北海道集会 「ひめゆりの壊から奇跡の生還」
7/23(木) 1:30pm ~ 語りべ 宮良ルリ
札幌市民会館 2F 大会議室
連絡先: 谷百合子 664-0632

私が訴えてきたこと
一統合教育訴訟から
山崎 恵

7/31(日) カゼヨウ7(231-4111)
自由学校遊主催 (786-3440)

七三一部隊展 in 札幌

医療で生体実験

8/4(木) ~ 9(火) 10:00am ~ 7:00pm

南2西1 山口中央ビル 5.6F

アートスペース201

参加協力券: 資料と引換券 ￥500

主催: 七三一部隊展札幌実行委員会

Tel: 751-1011 Fax: 751-8874

谷さんはフツーの格好をするのが、一番のバストマンスとみんなや
言うので、今年の北電特大集会の和のテーマは一般の人。しかし、トペ
ス、トメイク、トヒールが夜についてて何にもない！あわてて化粧品やら
何やら買ひに走った。うーん、フツーってお金かかかかるねー！
さて、いろいろフツーにして(?)当日出かけに鏡を見たら、ズニンは
見知らぬ人や立っていた。(ゆりこ)
突然顔面神経マヒになつてビックリ。みんないいました助けてもらいました。
おかげさまですっかり全快。ありがとう！これからは疲労・ストレスをため
ないように絶対無理しないで、あこうと固く決意しました。早速纏めていた
原稿を谷さんに代つてもらいました！(えいこ)

